

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク(GRESB)プレスリリース

－日本語版追加情報－

(訂正版)

2014 年 9 月 25 日

非上場の参加者数に誤りがあり (誤 : 10 (8 社) → 正 : 11 (8 社))、日本市場からの参加者数も修正いたしました (誤 : 30 (28 社) → 正 : 31 (28 社))。お詫びして訂正いたします。

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク(GRESB)とは、2009 年に欧州の主要年金基金のグループを中心に創設された不動産セクターのサステナビリティ・パフォーマンスを測るベンチマークで、不動産会社・運用機関に対して毎年行う調査に基づいています。現在では、あわせて 8 兆 9000 億米ドル (約 890 兆円、1 米ドル=100 円で換算) の資金を持つ 130 以上の GRESB メンバー (年金基金をはじめとする機関投資家メンバーや運用機関・不動産会社メンバー) が、投資先の選定や投資先との対話に GRESB を利用しています。

本年調査へのグローバルの参加者数 637 のうち、日本市場からの参加者数は 31 (社数では 28 注) と、昨年から着実に増加しました。内訳は、上場会社が 20 (20 社)、非上場会社が 11 (8 社) となっています (詳細別紙)。特に、J-REIT からは新たに住宅系を含む 4 社が参加して計 17 社となり、時価総額ベースで、J-REIT 市場の約 5 割を占めるまでとなりました。ディベロッパーからの参加も徐々に増加しています。なお、アジアの上場企業の参加者に占める日本企業の割合は 6 割弱となり、大きなプレゼンスを示しています。

GRESB は、サステナビリティに係る「マネジメントと方針」および「実行と計測」の両面において優れている会社に「グリーンスター」の称号を付与していますが、日本を含むアジア地域からは、複数の J-REIT を含む 25 社 (ファンド) が「グリーンスター」を取得しました。また、サステナビリティに関する取組みが傑出しているアジアのセクター・リーダーとして、SIA 不動産投資法人 (オフィス・小規模会社/ファンド部門) が選出されました。詳細については、GRESB ホームページ (<http://gresb.com/>) より、2014 年 GRESB 調査レポート (現在、英語版のみ) やその他の追加情報 (英語版のみ) をご参照ください。

注) 複数ファンドで回答した会社があるため参加者数と社数が異なる

お問い合わせ先 :

CSR デザイン環境投資顧問株式会社 (GRESB 日本市場アドバイザー)

堀江隆一 (ほりえ りゅういち)、高木智子 (たかぎ ともこ)

電話 : 03-5213-4830

E メール : gia@csr-design.com

GRESB 2014 年調査 参加者（日本市場）

参加者数：31（28 社） 注）複数ファンドで回答した会社があるため参加者数と社数が異なる

上場：20（20 社） [うち、J-REIT：17（17 社）]

アクティビア・プロパティーズ投資法人
アドバンス・レジデンス投資法人
イオンモール株式会社
大和証券オフィス投資法人
GLP 投資法人
平和不動産リート投資法人
ヒューリック株式会社
産業ファンド投資法人
ジャパンエクセレント投資法人
日本ロジスティクスファンド投資法人
日本プライムリアルティ投資法人
日本リテールファンド投資法人
ケネディクス・オフィス投資法人
森ヒルズリート投資法人
日本プロロジスリート投資法人
オリックス不動産投資法人
SIA 不動産投資法人
東京建物株式会社
東急リアル・エステート投資法人
ユナイテッド・アーバン投資法人

非上場：11（8 社）

アビバ・インベスターズ
ブラックロック・ジャパン株式会社
CBRE グローバルインベスターズ
グローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社
ケネディクス株式会社
ラサール不動産投資顧問株式会社
レッドウッド・グループ
株式会社ザイマックス不動産投資顧問

（英語表記でのアルファベット順）

以上